

フクシマ連隊キャラバン参加報告書

東北地方小名浜支部青年部

書記次長 堀井淳平

今回私はキャラバン初参加でした。事前にフィールドワークに行き被災地の現状、原発の仕組みなどを再度勉強してきました。参加するまでは正直やってもあまり意味がない、そこまでやる必要があるのか思っていました。ですが、参加してその考えは変わりました。

実際に自分で要請書を読んで提出して、自分の意見、原発被害をうけた地元民にしか伝えられない経験を伝えるなど貴重な経験ができました。役所の方々も「毎年ご苦労様」と言ってくださったり原発再稼働の反対の意志をみせてくれたりと毎年やってきている成果なんだと実感しました。そして、他支部の方々の熱量にも驚きました。原発がない都道府県の人でも地元の人かのように活動してくれたり、キャラバンに対しての意気込みなどとても感動しました。キャラバンは絶対に続けていかなければならない活動だと思います。続けてきたことにより考え方を改めてくれる市町村もありました。

代々木では、多くの人達が集まってキャラバン隊を待っていてたくさん声をかけてくれました。毎年これだけ多くの人で活動していれば少しずつ何かが変わるのではないかととても感じました。

今回の経験を活かし次回からはもっと積極的に活動していきキャラバンに貢献したいと思います。